

## まなびや訪問

金融教育研究校・  
金銭教育研究校  
の紹介



2017年度金融教育公開授業「生活産業基礎」の様



2017年度金融教育公開授業 講演の様



吹き抜けの教室棟



通学路から見える校舎



# 福岡県立東鷹高等学校

福岡県立東鷹高等学校は、炭都として栄えた田川市に位置し、南には英彦山、北には福智山を望む豊かな自然環境のなかにあります。昨年、創立90周年を迎えた本校では「がんばっ東鷹！」をキャッチフレーズに「りっぱな社会人を育てる」ことを教育目標としてさまざまな活動に取り組んでいます。

2016・2017年度には福岡県金融広報委員会から金融教育研究校の委嘱を受け、「社会生活の場で主体的な意思決定をする力を養う金融教育」をテーマに、公民科・家庭科を中心として金融教育の実践と効果的な指導法の研究を進めてきました。

公民科の授業においては、『金融教育プログラム』を参考として、金融に関する論点を設定して経済全般の基礎知識を学びました。具体的にはグループ学習での企業研究、実際のニュース（ネットオークションでのポテトチップの価格高騰）をもとにした物価変動についての考察、また、

税務署の職員の方を招いての租税教室などを行いました。家庭科の授業においては、給与明細や求人票の読み方を学ぶなどライフプランについて重点的に学び、自らの将来について考察しました。また、主として生活全般について学ぶ総合生活科の生徒たちは、定期的に実施している本校オリジナル商品の販売実習を振り返り、グループ討議・発表を行って次回の販売戦略を立てるなど、実践的な手法により学びを深めました。

2年間の学びを通して、生徒たちは自らの人生について具体的に考え、金融の仕組みに興味を持つようになり、自らが取るべき行動について主体的に考察する場面が増えてきたように思います。「年金」や「税金」について関心を持ち、授業後に家族とそれらについて話をしたという生徒もみられました。今後も金融教育を通して、社会生活の場で主体的な意思決定をする力を育てていきたいと考えています。